熊本県立劇場季刊誌 ほわいえ
Quarterly magazine FOYER
2023 Winter

つながる、ひろがる、あつまる
ほわいえ

019

FOYER

Special feature
伝承芸能トークセッション
劇場×清和文楽×神楽
talk about traditional performing arts in Kumamoto

日常に、劇場を。

Life with a Theater.

熊本県立劇場
KUMAMOTO PREFECTURAL THEATER

【企画・発行】
公益財団法人 熊本県立劇場
熊本市中央区大江2-7-1 〒862-0971
www.kengeki.or.jp

【編集・制作・印刷】
株式会社 ジャム
熊本市中央区練兵町45早野ビル1階 〒860-0017
www.jam-cf.com

熊本県立劇場季刊誌 ほわいえ　2023 winter　発行日:2023.12.20　※掲載内容は11.30現在のものです。

劇場×清和文楽×神楽

talk about traditional performing arts in Kumamoto

イノベーションの反対にある、トラディショナル。その中に、現代生活に抜けているものが見えてくる。

伝承芸能がそれぞれの地域で受け継がれてきた背景には、風土、農作物、仕事、コミュニティ、生活様式など、その土地で営まれてきた暮らしがあります。地域コミュニティのあり方、生活様式が変化している現代において、伝承芸能は、守る、保存する文脈で語られることが多いですが、熊本県立劇場では、世代を超え、地域社会のコミュニティの形成に大きな役割を果たしてきた伝承芸能の継承と発展を支援することに注力し、これまでさまざまな事業を展開してきました。今回の特集では、姜尚中館長が劇場の立場から、熊本の伝承芸能の世界で活躍する担い手たちにインタビュー。伝承芸能のこれからについて、ホンネを交えて語っていただきました。

熊本県立劇場館長
姜尚中

伝承芸能を続ける、そのモチベーションの源になっているもの

姜　清和文楽と中江岩戸神楽は、地域の伝承芸能とひとくくりにできないほど違うものですが、どこかで通じているものがあると思います。まず最初に皆さんが伝承芸能の世界にいるモチベーションについて聞かせてください。

後藤（ひ）　2022年に県劇で開催された公演「水と火と木、そして再生の物語」に出演したことで、地元の定期公演のお客さんが増えて。それが、現在のモチベーションにつながっています。

姜　高良健吾さんと橋本愛さんといった著名な俳優さんと共演しましたね。それによって自分がやってることが楽しくなるというか。

後藤（ひ）　みんなに自慢できますね。神楽をやっていたから有名人にも会えたよ、とか（笑）30年以上前には、中江岩戸神楽三十三座徹夜公演の舞台が、同じ県劇で開催されたので、昔の人たちと同じ舞台でやっていると、感慨深いものがありました。

姜　大樹さんは、30年前は生まれていなかったですね（笑）

後藤（し）　私が子どもの頃は、神楽（保存会）に入りたいと思っても、入れるものではなかったので。大人になって、自分の子どもが小学生になって「神楽をやってみるね」と。そこでやっと神楽に携われるようになりました。

後藤（ひ）　中江岩戸神楽は、波野（旧阿蘇郡波野村）の中江部落の長男しか入れないものだったようです。継承する人が少なくなり、伝統を残すために若者に広げるようになって。僕自身も小学校から中学校まで神楽をやってましたし、熊本市内に就職が決まった後も続けていますね。

姜　若者が神楽を舞うことで、新陳代謝できたのですね。清和文楽はどうですか？

岡本　2022年の熊本県芸術文化祭スペシャルステージで「ONE PIECE」とコラボしました。以前は遠い存在のように周りからも思われていたのです

参加者（右から）
清和文楽　（一財）清和文楽の里協会
渡辺奈津子
岡本翔（しょう）

中江岩戸神楽　中江岩戸神楽保存会
後藤詩乃（しの）
後藤大樹（ひろき）

が、それをきっかけに若者から上の世代の方まで「楽しかったよ」などとお声をいただくようになって。周りの人たちから近づいてきてくれていると感じますね。

姜　清和文楽の場合は、ご自分の仕事になるわけですよね。伝承芸能であると同時に、それが本職になるという。

渡辺　私はもともとは熊本市内でパティシエをやっていたのですが、タイミングよく清和文楽の里協会職員の募集を見つけて。音楽とかも好きだし、手に職が欲しいなと応募しました。

姜　渡辺さんは、三味線をゼロから学んだということですか？

渡辺　そうです。最初の2年間は修行で兵庫県淡路島に行かせていただきました。

伝承芸能の継承は日常生活の延長線にあるもの

姜　清和文楽の場合は、人形を動かす人形遣いと、語り手である太夫の三味線もあり、歌舞伎と同じような舞台になっています。一方で神楽の場合は、特別な舞台ではなく、みんなが平場で踊りながら演じている。身体表現としての伝承芸能について聞いていきたいのですが。

岡本　私は三味線と太夫が中心なので、人形は普段あまり持ちません。たまに「足遣い」のお手伝いをしますが、頭（かしら）を持つ「主（おも）遣い」の動きと合わせるので、普段と違う筋肉にきますね（笑）

姜　清和文楽のおふたりは三味線の演奏と、太夫の語りで舞台上の人形を引き立たせるという役割だと思います。

渡辺　舞台の袖に三味線と太夫が座るのですが、「こっちも見てほしい」という気持ちはあります。たまにお客様でこっちを見られてる方もいらっしゃるので、つねに意識して舞台に立つようにはしています。

姜　大樹さんは「神楽男子」として活動していると聞きましたが。ファンレターとかもらったりしますか？

後藤（ひ）　ファンレターとかはないですけど（笑）中江岩戸神楽には、若手が6、7人いるので、その若手を目当てにいらっしゃる人も結構います。

姜　先ほど大樹さんが話していた「水と火と木、そして再生の物語」の舞台ですが、私がこの舞台を観たときは、神楽がものすごく印象深くて。素晴らしくて。大樹さんは、あの舞台で観客席からの反応というのは感じましたか？

後藤（ひ）　反応を感じたのは、舞台を終えた後からですかね。SNSとかで検索して、火のイメージのところが強い、という反応が多くて。

姜　中江岩戸神楽のおふたりは、別に仕事や家庭を持っていて、神楽に携わっている。神楽を生業にしているわけではないですが、尋常じゃないほど熱があると思います。ご自身を突き動かしているものは、なんでしょうか。

後藤（し）　中江岩戸神楽のことを熊本の他の地域で知られていないことが多くて。県劇で舞えることは、そういう意味ですごく意味があることだと思っています。

姜　大樹さんは神楽の世界に小学生の頃に入られということですが、これからも続けようと思っていますか。

後藤（ひ）　神楽のことが好きですし、これからもっと広まることを願って続けていきたいという気持ちがあります。

姜　普段の稽古は？

後藤（ひ）　毎週土曜に集まって練習しています。週1は必ず稽古するようにしています。参加するメンバーが納得できるまで稽古するので、夜7時から11時くらいまでする時もあります。

後藤（し）　小学校の子ども神楽は毎週水曜と、神楽男子の皆さんに習う時は土曜にも。中学校は週1ですね。

渡辺　私たちには、物産館の仕事や、事務仕事など、それぞれに自分の仕事があって。その仕事が終わった後に稽古しています。私は物産館でお饅頭づくりをやっています。

岡本　私は、事務です。

姜　そもそも地域の伝承芸能は、専門のプレイヤーがいたわけではなく、

農作業や仕事の傍らでやっていた歴史があるわけですよね。普段のお仕事をしながら、清和文楽のプレイヤーとして三味線や太夫をやったり。多機能的なことをやっていかなければいけないのですね。

伝承芸能に携わることから見えてくる伝承芸能の未来

姜　神楽をやっていらっしゃるおふたりから見た清和文楽のイメージと、清和文楽をやっていらっしゃるおふたりから見た神楽のイメージを聞いてみたいです。伝承芸能はひとくくりにされがちですが、伝承芸能は、それぞれの地域の象徴になっていて、そこに価値がある、と思います。

渡辺　「水と火と木、そして再生の物語」の舞台で、中江岩戸神楽を初めて観たのですが、迫力がすごくて。シビれました。（笑）

岡本　数年前にも清和文楽館で、ほかの地域の神楽を上演したことがあって。その時に初めて神楽を観たのですが、厳かな、静かなイメージでした。ですが、やはりまだ知名度がないかなと。清和文楽もそうなんですけど。

後藤（ひ）　清和文楽の人形を、今日初めて持たせていただいて、びっくりしました。そもそもこんなに重たいものだと思っていなかったので。

姜　10キロある人形を持つとなると大変でしょ？これを持って、40分、50分も動かすと。

後藤（し）　清和文楽はテレビのドキュメンタリーで観たことはありました。

姜　これまで神楽と清和文楽の交流がなかったというのが驚きでしたね。今後、コラボしたり、一緒の舞台をつくったり。やってみたいこととかありますか？

後藤（ひ）　それが実現できたら、いろんな意味でいい刺激になると思います。

姜　伝承という言葉は英語でいうとイノベーションの反対語になります。今

の時代は、デジタル化が進んで、なんでもイノベーションしていかないといけない。一方で伝統というのは、ひとつの原型があって、それをキープしていくというか。だから、保存会という言葉を使うわけですよね。伝承芸能の世界を知ることによって、デジタル化された世界に何が抜け落ちていくか、わかってくるんじゃないかと私は思っています。最後に、皆さんが携わっている伝承芸能を、今後も持続させつつ多くの人に知ってもらうために、抱負をおひとりずつ聞かせてください。

渡辺　清和文楽も後継者不足が問題視されているので、社会科見学で熊本市内の学校から見学に来館してもらっています。そういう子たちに清和文楽の楽しさだったり、おもしろさだったり伝えていきたい。難しい伝統的な演目は残しつつ、今の時代に合った演目をやっていくことで、清和文楽は難しくない、楽しいものだというのを、今のやり方、昔のやり方を混ぜながら発信していきたいです。

岡本　清和文楽は、もともと娯楽から生まれたもの。２０２２年の「ONE PIECE」とのコラボもそうですが、清和文楽に入りやすい新作もできているので、若い人たちにも堅苦しくなく、楽しんでもらえるものをつくっていきたいと思います。

後藤（ひ）　神楽も堅苦しいイメージを持たれがちなんですけど、若い人たちが入ることによって、同世代にもっと広まればいいな、と思います。中江岩戸神楽は２７０年の歴史があるんですけど、太鼓の打ち方や舞い方は変えずに、現代に合った方法で広められたらいいのかなと思います。

後藤（し）　子ども神楽は、小学校１年生から６年生までありますが、それでも人が足りなくて。だんだん子どもだけで稽古することも厳しくなっています。ＳＮＳで発信していますが、時々熊本市内の子から連絡がきたりします。それで神楽の練習を見に来てくれたりとか。そんなちょっとしたことでも、どんどん広まっていってくれたらいいな、と思います。

姜　今回４人の方のお話を聞いていて、伝承芸能の裾野を広めていかないといけないと実感しました。広まれば、知る人も増えてくるし。広めるためには、いろいろなやり方がありますしね。できれば、県劇が大きなイベントを仕掛けるなど、皆さんの活動を知ってもらう場をつくりたいと思います。今日はおもしろい視点でお話ができてよかったです。楽しい時間でした。

伝承芸能トークセッションにご参加のみなさん

清和文楽
（一財）清和文楽の里協会
渡辺 奈津子 さん

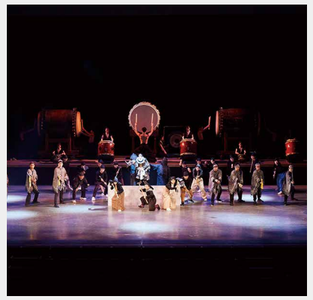
清和文楽
（一財）清和文楽の里協会
岡本 翔（しょう）さん

中江岩戸神楽
中江岩戸神楽保存会
後藤 大樹（ひろき）さん

中江岩戸神楽
中江岩戸神楽保存会
後藤 詩乃（しの）さん

清和文楽

江戸時代後期頃に山都町（旧清和村）を訪れた淡路の人形芝居の一座から村人らが伝承したと伝わっています。
清和文楽館をはじめ、各地で出張公演を行っています。



© 尾田栄一郎／集英社

第 64 回熊本県芸術文化祭スペシャルステージ ONE PIECE× 人形浄瑠璃 清和文楽 超馴鹿船出冬桜　ちょっぱあふなでのふゆざくら

清和文楽の継承や後継者育成を目的に、2020 年から取り組んだ新作制作プロジェクト。幅広い年代から支持を得る人気漫画「ONE PIECE」を題材とした清和文楽の新作を制作・上演することで、新たなファン層の獲得や知名度向上に寄与しました。

【公演概要】
2022 年 11 月 5 日（土）、6 日（日）　熊本県立劇場演劇ホール
原作：尾田栄一郎「ONE PIECE」（集英社「週刊少年ジャンプ」連載）
総合演出・音楽監修：藤原道山
脚本・演出：横内謙介
作調・浄瑠璃監修：鶴澤清介
人形浄瑠璃監修：（公財）淡路人形協会 淡路人形座
出演：清和文楽人形芝居保存会、清和文楽館、竹本住蝶、豊澤住輔、吉田史興・吉田幸路・吉田千紅（淡路人形座）、市民浄瑠璃隊、劇団扉座、せりふ太夫隊、熊本県立矢部高等学校、山都町立清和中学校、山都町立清和小学校、宇土雨乞い大太鼓保存会（宇土天響太鼓・太鼓芸能集団「紬衣」・宇土高校和太鼓部「鼓」）、山鹿灯籠踊り保存会、くまモン夢学校キッズダンサー
特別出演：田中真弓、倉野尾成美（AKB48）

中江岩戸神楽

江戸時代の明和年間、大分の御嶽神社に伝わる神楽をベースに三十三座に構成したもの。
毎年 4 月 20 日と 9 月 30 日に萩神社へ神楽が奉納されています。
毎月第 1 日曜日（1 月～3 月、10 月を除く）には中江神楽殿で定期公演を行っています。

熊本地震復興祈念「水と火と木、そして再生の物語」

災害からの復興をテーマとし、火の国熊本の過去から現在に至るまでの壮大な時の流れと変容する風景を、踊りと「手紙」で語り継ぐパフォーマンス作品。舞台は「水」「火」「木」「再生」のイメージで構成され、中江岩戸神楽保存会は「火」のイメージを象徴する重要な役割を担いました。

【公演概要】
2022 年 3 月 12 日（土）　熊本県立劇場演劇ホール
総合演出：行定勲
演出／振付：矢内原美邦
出演：橋本愛、高良健吾、オーディション選抜ダンサー（青野大輔、尾田悠、小山咲、鹿間れいあ、葉山悠介、水上初佳）、中江岩戸神楽保存会

中江岩戸神楽三十三座完全復元徹夜公演

過疎化や後継者不足の影響で全三十三座の伝承が失われつつあったことから、24 時間通しで三十三座を披露する公演を県立劇場が企画。監修者立ち合いのもと 1 年がかりで復元に成功し、徹夜での公演が話題となりました。

【公演概要】
1990 年 1 月 27 日（土）～ 28 日（日）　熊本県立劇場演劇ホール
出演：中江岩戸神楽保存会

利用団体紹介

PLAYERS SQUARE

Dance circle BAAAM

〝楽しい〟ことがすべての選択肢のベースになっている

スタジオを持たないスタイルで2018年からダンスレッスンを行っているダンスサークル「BAAAM(バーム)」。設立からずっと週に2回のレッスンで、県劇の練習室を利用している団体です。レッスンに通うのは小さな子どもから大人まで、実にさまざまな年代の人たちです。BAAAMを立ち上げた代表のShu-heyさんは、ダンス活動が盛んな鎮西高等学校で、10年前から選択科目制のダンスの授業を受け持ち、部活動を指導しています。全国大会の常連校でもある高校での指導をはじめ、CMや舞台振付など多方面で活動する一方で、自らが主宰するダンスサークルでは「楽しく踊ること」をモットーにレッスンに取り組んでいます。

BAAAMを立ち上げる前はダンススタジオを運営していた経験があり、「自分の目の届く範囲で、ダンスが好きな人へ、踊ることの楽しさをもっと伝えていきたい」との思いでBAAAMを設立したといいます。Shu-heyさん自らが楽しめる環境でダンスができる場づくりをすることが、このサークルを立ち上げた意義だと感じているそうです。設立からしばらくして経験したコロナ禍では、オンラインレッスンも行っていたそうですが、子どもたちの踊りたい、身体を動かしたい熱が対面のレッスンを通じて強く伝わってきたといいます。

レッスンの成果を披露するのは、地域のお祭りやイベントでのステージ。「お祭りやイベントでダンスを披露することで、独特の高揚感を味わえ、ダンスすることの楽しさを感じてもらえる。だからこそ、ステージを〝こなす〟ようになりたくないので、楽しさ重視でステージで踊るイベントに参加させていただいています」と語るShu-heyさん。なにを選択するにも、とにかく〝楽しい〟を重視。2024年3月まで県劇の改装にともないレッスンは一部休む予定ですが「再開した時の踊りが楽しみ」と締めくくりました。

Shu-hey
Dance circle BAAAM 代表

Dance circle BAAAMの活動はインスタグラムで発信中。レッスンを受けたいなどの問い合わせもインスタのDMで受け付けています　［ Instagram ］@baaamkumamoto

まなびの風景

SCHOOL SQUARE

開新高等学校 開新太鼓同好会

6名（この日は1名欠席）の部員たちと、代継太鼓保存会の上野秀喜先生

創立100周年の記念イヤーに誕生した太鼓同好会

開新高等学校の開新太鼓同好会は、前校長先生が他校の太鼓部の演奏に感動して「100周年の舞台で演奏を」と、2004年の同校の創立100周年式典をめざして立ち上げられたクラブ活動です。立ち上げ当初は太鼓初心者が集められ、外部の指導者のもと短い期間で100周年式典が開催された熊本県立劇場コンサートホールで初舞台を踏むことになったそうです。2024年には創部20周年を迎える太鼓同好会。現在は1年生から3年生まで7名の部員が在籍。代継太鼓保存会の会長、上野秀喜先生による指導で、週に1回の練習が行われています。卒業生にはプロの演奏家として活動している人もいるそうです。「卒業生が太鼓の指導にきてくれたり、人とのつながりが強いクラブ活動です。上野先生もそのつながりでお世話になっています」と、顧問の荒川雅和先生。メンバーの中には荒川先生のスカウトがきっかけで入部した生徒もいるとか。週に1回のわずかな練習時間で集中して太鼓に向き合う生徒たちの姿がとても印象的な練習風景でした。

練習の成果を大勢の前で披露する感動を味わう

開新太鼓同好会の活動は、入学式、卒業式、文化祭、体育大会など、主に校内行事での演奏が中心で、町内の神社のお祭りに呼ばれるなど、時々外部で演奏を披露することもあったそうです。コロナ禍では校内行事での演奏は自粛、外部からの演奏依頼も減り、さまざまなことが変化しました。新入生に向けたクラブ活動勧誘の演奏もYouTubeと、人が集まる中での演奏を経験しないまま卒業した部員もいたほどです。しかし、コロナ禍も明け、2023年10月にパークドームで開催された同校の体育大会で、現在のメンバーは初めて大勢の前で演奏を披露しました。3年生の西島蓮さんは「みんなの前で演奏して、拍手をもらえたことがとてもうれしかった」と語ります。次期部長である2年生の三吉龍聖さんは「来年こそは文化祭で太鼓をたたけると思うので、しっかり練習していきたい」と抱負を、1年生の福永宙輝さんは「みんなと太鼓の音とリズムを合わせる時に、ピシャッとなる時が気持ちいい」と太鼓の楽しさを語ってくれました。

右から
2年生の三吉龍聖さん
3年生の西島蓮さん
1年生の福永宙輝さん

OPEN! BACKSTAGE

コラムでつなぐ交流の場

県劇スタッフリレーコラム

総務グループ
中島 圭一［なかしま けいいち］

バタフライエフェクト

1994年春、トレンディドラマ「あすなろ白書」を観てキャンパスライフに憧れた私は福岡の地に立った。

当時は第3次サーフィンブームの只中にあり、東区三苫のサーフショップ・レイディックスに通い、先輩たちからサーフィンを学んだ。早朝のサーフィン、大学の講義、スポーツジムのアルバイト、最後は親不孝通りのクラブに行くのが日課となった。1990年代前半の親不孝通りには九州最大級のディスコ・マリアクラブがあり、僅かながらバブルの余韻が残る時代であった。当時、ディスコの衰退と同時に隆盛を極めていたのがクラブである。レゲエ、ヒップホップ、R&Bなど様々なジャンルのイベントが毎夜開催され、中でも人気を博したのがダンスホールレゲエ。時折りカーラジオやビーチでレゲエが流れてくると一瞬で若返った気になる。

時間軸を現在に戻す。現在の私は、県立劇場での仕事に加え、子供が通う小学校のPTA役員、小学校創立150周年記念実行委員会委員、少年野球チームの送迎など、若い頃には想像だにしない大人になった。

とりわけ少年野球は忘れていた感情を呼び戻してくれる。純粋無垢な眼差しで白球を追う子供たちの姿を見るだけで涙腺が緩む。何かに夢中になり、気持ちを昂らせることは素晴らしい。

熊本県の芸術文化振興を担う県立劇場に課せられた役割もまた素晴らしい。少年野球に臨む子供たちと同様に、いくつになっても仕事もプライベートも夢中でありたい。

寄稿

熊本市教育委員会
教育相談室　指導主事
田平 拓也

学校に行けずに困っている児童生徒が通所する教育支援センター「フレンドリー」が、県立劇場の「バックステージツアー」に参加させていただくようになり5年目になります。今年も貴重な体験をさせていただきました。通所生の感想文を交えながら報告したいと思います。

「普段絶対に見られない所を見ることができてとても楽しかったです。一つの舞台ができるまでに、たくさんのスタッフが関わっていることを知ることができました」

体験活動が不足しがちな通所生にとって、施設を見たり仕事の様子を聞いたりすることは大変有意義な機会です。まず、演劇ホールにチケットをもぎってから入場するという演出は、まるでコンサートに行くようなドキドキ感が高まりました。次に、舞台上の迫（せり）に乗り奈落まで行きました。床が上下し子どもたちは大興奮です。舞台上で歌ったり演奏したりすることはあっても、こういう経験はなかなかできません。最後に、機器に触れました。「音響や照明の装置を見るのも触るのも初めてで、とてもドキドキしました。スタッフの皆さんも大変そうだなと思いました」

子どもたちは特に照明についてよく質問をし、興味深さが伺えました。

「県立劇場で働いている皆さんが楽しそうに、充実した様子で仕事をされている様子が伝わってきて、すごく素敵だと思いました。これからもお客さんのために頑張ってください」

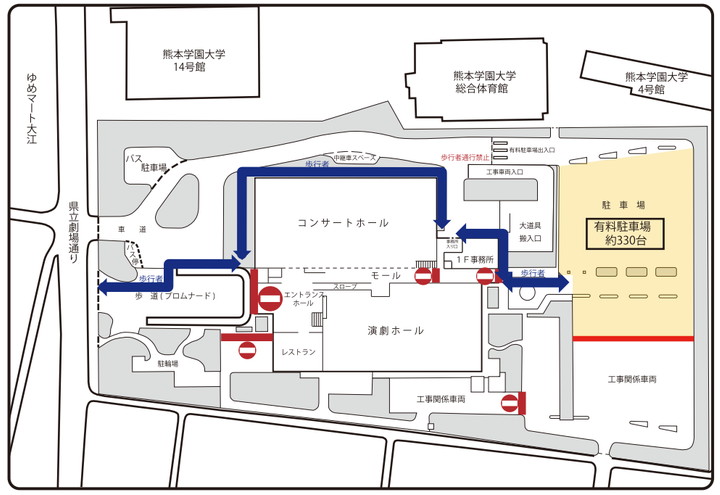
県立劇場での体験活動によって、子どもたちの未来の可能性が広がると思います。また来年以降もこのプログラムに参加させてください！

改修工事に伴う施設の利用停止
窓口業務・駐車場についてのお知らせ

県立劇場の老朽化に伴う施設設備の改修工事のため、下記の期間、施設の利用を停止させていただきます。ご利用のみなさまには大変ご不便をおかけいたしますが、県立劇場をより快適に、かつ安全に提供するための工事ですので、ご理解とご協力をお願いいたします。

利用停止期間／2023年11月13日(月)～2024年3月15日(金)
利用停止施設／全ての利用施設
主な工事内容／空調設備、機械設備、非常用発電設備
演劇ホール照明設備、コンサートホール舞台設備
大会議室音響・照明設備　等

※窓口業務［施設の予約等・チケット販売］は通常通り営業（9：00～19：00）

■仮事務所営業について
仮事務所（県立劇場2階・中会議室）　2023年12月7日(木)～2024年1月末まで（予定）

■有料駐車場について
駐車場は通常通りご利用できますが、工事期間中の駐車台数は約330台です。
また、館内は工事中で危険なため通行できません。建物北側（地図の青矢印の経路）をご利用ください。
［注意］以下の日程はご利用できません
◉年末年始：2023年12月29日(金)～2024年1月3日(水)
◉停電を伴う工事：2024年1月12日(金)・26日(金)